

令和2年度政策評価部会の審議結果について

令和3年4月16日
政策評価部会

1 令和2年度政策評価・施策評価の審議結果

(1) 審議対象

令和2年度の政策評価・施策評価については、令和2年5月14日付けで、21政策56施策に係る県の評価原案について、知事から諮問がなされた。

○県の評価原案（政策・施策の成果）

	評価区分（※）毎の政策（施策）数				合計
	宮城の将来ビジョンの体系		宮城県震災復興計画の体系		
政策評価	・順調：1政策 ・概ね順調：10政策 ・やや遅れている：3政策 ・遅れている：なし	計 14政策	・順調：なし ・概ね順調：7政策 ・やや遅れている：なし ・遅れている：なし	計 7政策	21政策
施策評価	・順調：2施策 ・概ね順調：24施策 ・やや遅れている：7施策 ・遅れている：なし	計 33施策	・順調：4施策 ・概ね順調：18施策 ・やや遅れている：1施策 ・遅れている：なし	計 23施策	56施策

※評価区分（「順調」・「概ね順調」・「やや遅れている」・「遅れている」の4区分）

当部会では、3つの分科会に分かれて、延べ9回の分科会を開催し、調査審議を行い、県の評価原案（政策・施策の成果）の妥当性について判定（3区分）を行った。

あわせて、「政策・施策の成果」及び「政策・施策を推進する上での課題と対応方針」に対し、意見を付した。

判定結果及び主な意見は、次の(2)及び(3)のとおりである。

(2) 判定結果等

【宮城の将来ビジョンの体系】

評価項目		判定及び意見		
政策評価	政策の成果	適切 9	概ね適切 3	要検討 2
	政策を推進する上での課題と対応方針	意見を付した政策数 9		
施策評価	施策の成果	適切 24	概ね適切 7	要検討 2
	施策を推進する上での課題と対応方針	意見を付した施策数 20		

【宮城県震災復興計画の体系】

評価項目		判定及び意見		
政策 評価	政策の成果	適切	概ね適切	要検討
		5	1	1
政策 評価	政策を推進する上での課題と対応方針	意見を付した政策数		
		5		
施策 評価	施策の成果	適切	概ね適切	要検討
		18	4	1
施策 評価	施策を推進する上での課題と対応方針	意見を付した施策数		
		11		

(参考) 要検討の政策・施策

【宮城の将来ビジョンの体系】

政策8 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

政策8－施策19 安心できる地域医療の充実

政策12 豊かな自然環境，生活環境の保全

政策12－施策29 豊かな自然環境，生活環境の保全

【宮城県震災復興計画の体系】

政策2 保健・医療・福祉提供体制の回復

政策2－1 安心できる地域医療の確保

(3) 政策評価・施策評価に付した主な意見

(イ) 評価の理由について

成果重視の行政運営を推進するに当たり，行政評価には，県が政策・施策・事業の実施により，どんな成果を上げたのかを的確に検証することが強く求められているが，評価の妥当性の判断に必要な成果について，記載内容が不足しているものが見受けられる。

施策の成果の評価に当たっては，一年の成果を踏まえた上で，施策に期待される成果を発揮することができたかについて，目標指標の達成状況，県民意識，社会経済情勢，事業の実績及び成果等の視点から総合的に評価し，施策の方向性の体系に沿って評価の理由を具体的に分かりやすく示す必要がある。その上で，政策の評価に当たっては，政策を構成する各施策の評価に加え，施策間を横断する取組の状況や成果，及び政策全体としての総合的な評価の理由を，分かりやすく示すことが必要である。

(ロ) 政策・施策を推進する上での課題と対応方針について

PDCAサイクルの一翼を担う政策・施策の評価を，次なる立案に反映させるためには，課題を的確に把握するとともに，その解決に向けての効果的な対応方針を示すことが重要であるが，目標指標を達成していない要因や，事業実績に対する効果の分析が不足しているため，課題の把握が不十分なものが見受けられる。

政策・施策・事業の現状分析に基づき，課題を的確に設定するとともに，その課題を克服するための具体的な対応方針を示すことが必要である。

また，政策評価・施策評価は，県民への説明責任を果たすことが重要な目的の一つであるため，これらの記載は県民に分かりやすいものとするを心がける必要がある。

なお，新型コロナウイルス感染拡大により，県内産業が大きなダメージを受けているほか，医療，福祉，教育等幅広い分野に影響が及んでいることから，感染収束後を見据えた課題と

対応方針を示すことを検討するとともに、新型コロナウイルス感染症対策については、全庁で横断的に、スピード感を持って対応することを期待する。

2 部会審議の経過等

(1) 経過

- ・令和2年5月14日 諮問
 なお、第1回政策評価部会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催せず、書面により諮問した。
- ・令和2年5月28日～6月17日 分科会開催
 第1分科会－7政策・19施策の調査審議／3回開催
 第2分科会－7政策・20施策の調査審議／3回開催
 第3分科会－7政策・17施策の調査審議／3回開催
- ・令和2年7月7日 第1回政策評価部会 答申とりまとめ
- ・令和2年8月4日 答申

(2) 政策評価部会分科会の審議状況

	宮城の将来ビジョンの体系						宮城県震災復興計画の体系					
	政策			施策			政策			施策		
	対面 審議	書面 審議	計	対面 審議	書面 審議	計	対面 審議	書面 審議	計	対面 審議	書面 審議	計
第1分科会	3	2	5	3	9	12	0	2	2	1	6	7
第2分科会	0	4	4	6	7	13	0	2	2	1	5	6
第3分科会	0	5	5	1	7	8	0	3	3	1	9	10
計	3	11	14	10	23	33	0	7	7	3	20	23

- ・全体では、宮城の将来ビジョンについては11政策23施策（72%）、震災復興計画については全ての政策と20施策（90%）を書面審議とした。
- ・第1分科会では、宮城の将来ビジョンについては2政策9施策（65%）、震災復興計画については2政策6施策（90%）を書面審議とした。
- ・第2分科会では、宮城の将来ビジョンについては4政策7施策（65%）、震災復興計画については2政策5施策（95%）を書面審議とした。
- ・第3分科会では、宮城の将来ビジョンについては、5政策7施策（92%）、震災復興計画については3政策9施策（92%）を書面審議とした。

なお、令和2年度の政策評価部会分科会の審議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施した上で審議を行った。